

おかえりなさいコンサート

シュューベルト国際ピアノコンクール第1位
あの時の新生が5年ぶりにプレイエルに帰ってきた!

佐藤卓史 ピアノ・リサイタル

Takashi Sato Piano Recital

2008. 6. 15 (日) 午後 2時～

Cafe プレイエル 喫茶ホール

前売り 4,000円 35席 限定

使用ピアノ 1923年 in Paris

プレイエル No. 17425



プログラム

クレメンティ	ソナタ ト長調	作品37-2
シュューベルト	楽興の時 D.780	作品94
ショパン	舟歌 嬰へ長調	作品60
ショパン	夜想曲 第20番 嬰ハ短調	
	遺作「レント・コン・グラン・エスプレッシオーネ」	
ショパン	ピアノ・ソナタ第3番 口短調	作品58

【プロフィール】

- 1983年 秋田市生まれ。4歳よりピアノを始める。
- 2001年 第70回日本音楽コンクールピアノ部門第1位、併せて野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞を受賞。
- 2003年 東京芸大シンフォニア英国公演にリストとして参加、イギリス各地で協奏曲を演奏。秋田、東京など全国4都市でデビューリサイタル開催。秋田市文化選奨受賞。
- 2003年 6月 Cafe プレイエル&ギャラリーやましろ 1周年記念コンサート
- 2004年 第30回日本ショパン協会賞受賞。(史上最年少)
- 2005年 第12回ベートーヴェン国際ピアノ・コンクール(ウィーン)、並びに第15回ショパン国際ピアノ・コンクール(ワルシャワ)の両コンクールにてディプロマを授与される。
- 2006年 「安宅賞」「アカンサス音楽賞」を得て東京藝術大学を卒業。第55回ARD国際音楽コンクール(ミュンヘン)にて、20世紀ピアノ作品の最も優れた演奏に対して贈られる特別賞「アリス・ロスナー賞」を受賞。第5回プーランク国際ピアノ・コンクール(フランス)第3位。
- 2007年 第11回シュューベルト国際ピアノ・コンクール(ドルトムント)にて第1位ならびに最年少セミファイナリストに贈られる特別賞を受賞。

東京都交響楽団、セントラル愛知交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京吹奏楽団、東京交響楽団、ミュンヘン室内管弦楽団、ドルトムント・フィルハーモニー管弦楽団等、国内外のオーケストラと多数共演。また堀正文、澤和樹、堀米ゆず子、藤森亮一、上森祥平、佐藤俊介、米元響子、神尾真由子をはじめとする多くの著名なリストと共演、室内楽奏者としても高く評価されている。

CDはナミ・レコードからこれまでに3枚リリースされており、ソロデビューアルバム「ラ・カンパネラ～珠玉のピアノ小品集」(2007年)が全国紙や主要音楽雑誌で紹介され話題を集めたほか、佐藤俊介との共演による「グリーグ:ヴァイオリン・ソナタ集 全3曲」(2007年)は平成19年度(第62回)文化庁芸術祭「大賞」を受賞した。

これまでに、ピアノを黒久美子、上原興隆、小林仁、植田克己、アリエ・ヴァルディの各氏に、フォルテピアノを小倉貴久子氏に師事。

現在ドイツ・ハノーファー音楽演劇大学にて名教師アリエ・ヴァルディ教授に師事